

こうほう ショッキング

Kōhō shocking

Vol. 1, 13



こじまきよか
小島清香さん

プロフィール

美津島町雞知在住 38歳

高校卒業後、人と接する職業にと福岡の衣料販売店に勤務。26歳で帰郷し、現在の会社に就職。書籍・CDコーナー担当。持ち前の明るさで来店客と商品との出会いをお手伝いしている。

福岡在住の頃は衣料品の販売。現在は書籍・CDのご担当というところで、商品が異なりますがはじめは「ちよっと堅いかなあ」というイメージがありました。本は読まないタイプだったのですが、勤め始めて読むようになったにもなりました。今年1月に10年の勤続表彰を受け、また新たな気持ちで頑張っています。毎日「今日はどんなお客様が来られるかしら」と楽しみながら接していますし、商品をお探しの方は私共の店を選んでくださっているという感謝の気持ちで接しています。

失礼ですが、どなたかに似ていると言われませんか？

青木さやかに似ると(笑) お客様にも何度か言われたことがありますが、最初はそれがちょっと悩みでもあったのですが、逆に良いことだと前向きに考えたら楽になって。今では真似して切り返せるようになりました。

人との出会いで印象に残っていることは？

32歳の頃にある女性と出会ったのですが、当時はマイナス思考であれこれ思い悩んでいた私

でしたが、いろんな事を教えてもらって、すごく楽になった部分もありますし、何よりもまず自分自身が好きになれたのはその人のおかげでした。「ああ、人間って変われるんだなあ」と本当に思えました。人との出会いで自分が変わることで本当にあるんですね。今も周りの人から影響を受ける時もありますし、自分も周りに何かしら影響を与えられたらなと思います。出会いといえば、まだ結婚せずにおりますが(笑)日に日に結婚については考えるようになっていくな。お互いに自分のことを必要としてくれる人、一緒にいて楽な人がいてくだされば、でも人との縁は本当に大切にしたいと思っています。ひょうきんな部分もあるので(笑)その部分も含めて受け入れてくれる方が良いでしょう。

お休みの日の気分転換は？

普段のお休みの時には、午前中に部屋の掃除をして空気を入れ替えるようにしています。部屋が汚いと自分の気持ちも曇るような気がして。料理をするのも気分転換の一つのような気がします。腕には自信ありますよ。

食事って大事だと思うので、自分自身のために作る食事も大切にしたいんです。大事な人が現れた時、自分のために作れないと相手のためにも作れないと思うから。

ベランダでできる家庭菜園を始めたんです。まずはトマトからチャレンジする予定。自分で作った野菜を食べてみたいなと思いついて。作ることも食べることも好き。加えてダイエツトもしています(笑)女性にとって永遠のテーマですね。

対馬に元気を！と昨年行った和太鼓集団「TAO」酒井文海堂貸切公演を皆さんにも大変喜んでいただき、あの感動を再びと今年も5月19日に開催することに。すでに来年もぜひ実現したいと社長、従業員一同考えています。メンバーの方々は本当にきらきらしていて魅力的です！みなさんにも迫力と感動を味わっていただきたいです。

毎回、登場してくださった方に次の方をご紹介いただくこのコーナー。今回は飯原町在住の棧原篤子さんです。お楽しみに。